

# 修学旅行記

## 6:40～出発!

修学旅行では5分前行動であるという話をしていた。しかし何ということでしょう! 思いのほか子どもたちの集まりが早く、なんと出発時間が20分も早まる事態に! 修学旅行を待ちわびていたのであろう、素早い行動を見せた6年生の団結力の「たまもの」ですね。



その行動力はとどまることを知りません。淡々と進むバスレク。砂川 SA でのテキパキとした休憩タイム。海が見えるとバス越しから押されるカメラのシャッター。まだその時ではないと闇の世界に旅立っている者。既に全力全開で楽しんでいる者。お菓子に夢中になっている者などなど。何というか、ぐうの音も出ません(笑)

## 9:30～小樽自主研修!

小樽自主研修では3つのチェックポイントがあります。1つ目がルタオ本店、2つ目がかま栄、3つ目が北のアイスクリーム屋さんです。

1つ目のチェックポイントのルタオは支店がいっぱい。しかもどのお店の前でも試食を配っています。子どもたちが試食をする画を撮るという口実で、子どもたちに試食を勧め、それにあやかり自分も試食を頂戴していたのはナイショの話。

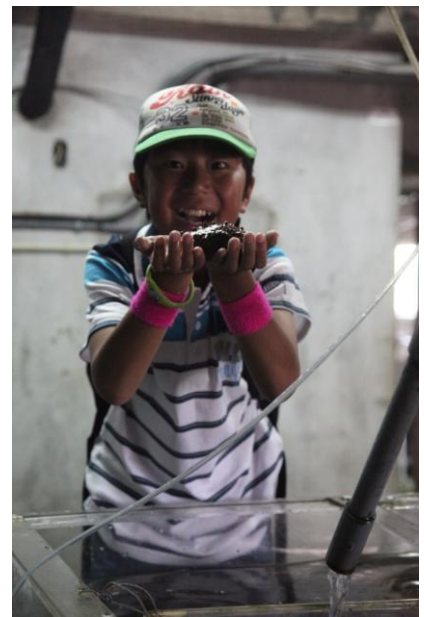


## 12:00～小樽運河食堂で昼食!

昼食はバイキング! 寿司、焼き肉、デザートも満載! なんと子どもを魅了するラインナップ!! しかし、結局女子が食べきれない肉を男子が食らう羽目に。いつの時代も変わらない。歴史は繰り返されるものなのだなあ。



## 13:15～おたる水族館!



おたる水族館ではバックヤードツアーがありました。普段では見ることのできない水族館の裏側の様子だけではなく、鮫肌を触らせてもらったり、えさを播かせてもらったりしました。子どもたちの反応が大きかったのは、ウニやヒトデ、ナマコを触らせてもらった時です。特にナマコは大騒ぎ! 泣いてしまう子もいました。ナマコ美味しいよ? や、食べられないナマコだったのかな? ウニは小さくてまだまだ食べ頃では無さそうです。

セイウチ、オタリア、イルカのショーは子どもたちも大喜び! ノリノリでショーに積極的に参加をしていました! セイウチとのキス・シーンを演じてくれた勇敢な3名の男たちに拍手!!

## 16:50～ガトーキングダム 到着!

入館式を終えると子どもたちはすぐにプールへ移動! ウォータースライダーは300円を払う価値あり!! 何度も何度も階段を駆け上がり、ヘトヘトになるまで楽しみました。



ホテルの夕食もバイキング! 子どもたちのお皿の上には高確率でポテトの山ができていました。また、こういう時になると謎の挑戦に挑む男たちが現れるのは必然なのでしょうか? 何杯飲んだとか、何個食べたとか、そんなことをしても女子にはモテないぞ!?

## 21:00~就寝!



さぁ明日に備えて早めに寝ます! とは言いつつも修学旅行と言えば・・・ね。定番です、ハイ。夜遅くまでいったいどんな話をしていたのかな? それともすんなり寝られたのでしょうか? 先生の悪口を言っていないことを祈ります((((;° 旦 °))))がクガクブルブル

## 2日目スタート!



2日目は台風の影響により雨の予報が出ていましたが、何とか天気は持ちこたえました。普段の行いが良いからかもしれませんね。

## 9:10～大倉山・札幌ウィンタースポーツミュージアム!



リフトで頂上まで登って景色を見た後は、ミュージアムでウィンタースポーツの疑似体験! いろいろな種目があり、子どもたちも夢中になっていました!



## 11:00～札幌自走研修!



いよいよメインイベントです! テレビ塔から札幌駅、大通公園、STV、サッポロファクトリー、円山動物園と大きく5カ所に分かれて旅立ちます。計画通りに行動できた班もあれば、時間内に目的地にたどり着けずあきらめてしまった班もあったようです。いったいどんなドラマが起こっていたのでしょうか。子どもたちのみぞ知る世界ですね。

## 14:00～札幌市青少年科学館!

どの班も集合時間に遅れることなく青少年科学館に到着することができました。スゴイ!!

科学館では実際にいろいろな展示に触れて楽しんでいました。2mダッシュのコーナーでは、自己ベストを更新してやろうと何度も挑戦する子もいました。そうこうするうちに、センサーの盲点に気づき、好タイムを出すコツをつかんでいました。

しかし、サイエンスショーでは実験がなかなか上手く進まなかったためか、子どもたちの反応も薄く、ビミョーな空気が漂う展開に……。これまでの疲れも出たのかな?



## 18:30～学校到着・帰校式

と思いきや、最後のバスレクは大盛り上がり！最後までよく電池が切れないなあと思うほどです。学年目標のごとく、学校到着の瞬間まで「一味同心」となり、全員で修学旅行を満喫することができた2012年扇山小学校の6年生。出発の時に教頭先生が話されていた「協力」という言葉の意味を、身をもって体験し、理解してくれたことでしょう。

この修学旅行での貴重な経験を生かし、今後の生活でも更なる飛躍を遂げてくれることを期待し、この旅行記を終えることにします。

